

基幹業務システムリフレッシュ（DX推進）について

当社は、先般発表した第7次中期経営計画の重要施策の一つとして基幹業務システム（製造・販売・調達・物流・会計）の全面リフレッシュを実施いたします。当社は、経営統合に伴い2007年4月全社統合システムを構築しましたが、今回、老朽システムの更新とセキュリティ強化のタイミングに合わせ、お客様への製品やサービスの価値を高め、バリューチェーンのあらゆる領域で生産性を飛躍的に向上させることを目的として、統合システム構築後始めてとなる大規模IT投資を行います。かねてより進めてきたIT基盤整備（※1）と合わせ、様々な操業データを基幹業務システムへ連結し、ライン操業状況の見える化、課題発掘・解析のスピードアップを格段に進め、生産性・品質向上、効率化を実現することが可能となります。

当社は、これからも収益基盤の強化と持続的な企業価値の向上を図るために、DX（デジタルトランスフォーメーション）を重要な経営戦略として位置付け、ドラム缶製造技術の革新的なイノベーションやBPR（業務改革）も視野に入れて、データとデジタル技術の活用に積極的に取り組んで参ります。

【実施内容】

- 1) 工場と本社とをデータでつなぎ、全社一体運営を深化する
- 2) 各業務領域のデジタル化（見える化）による迅速な経営資源の最適化
- 3) トレーサビリティの向上による品質とサービスの向上
- 4) IT全般統制レベル、JFEコンテナグループガバナンスの向上
- 5) 調達・会計システムの刷新により業務標準化の推進

【稼働予定】2023年度末（2024年3月）

【開発規模】11億円

※1「IT基盤整備」

2018年12月千葉工場に製造ラインへネットワーク（有線・無線LAN）を構築し、2021年4月以降、他工場にも整備を進めています。工事内容は、製造設備（PLC）からの操業データ収集、モバイル端末を活用した操業日報の直接入力、現場情報の電子化、操業データの一元管理・解析など。

以上

本件に関するお問い合わせ先

JFEコンテナ株式会社 総務部 TEL 03-5281-8511